

国土変遷アーカイブ利用検討作業

実施期間 平成 16 年度
地理情報部地図情報課 飯田 洋 田中 宏明

1. はじめに

国土地理院では、明治期以来の旧版地図、空中写真等の膨大な資料を所有している。これらの資料は国土の変遷を記録した貴重な資料であり、過去から現在までの変遷を調査・評価することによって将来像を予測でき、国土管理政策の意志決定に資することができる非常に重要なものである。

しかしながら資料は紙やフィルムであるため、ただ単に保管するだけでは将来的に劣化する可能性があり、また散逸する可能性も否定できない。またこのような貴重な資料を、広く国民に開示し利用していただくことは、様々な分野で有用な成果が期待でき、また情報公開の観点から鑑みても非常に重要である。

このような背景のもと、国土地理院では平成 16 年度国土地理院重点政策の 1 項目として、時系列デジタルアーカイブの整備を挙げ、上記の資料を国土変遷アーカイブとして整備を始めた。ここで重要なのは、アーカイブの整備方法や利用方法は国民のニーズに沿って行っていくということである。そこで平成 16 年度作業として学識経験者等からなる国土変遷アーカイブ利用検討委員会を設置し、検討を行った。

2. 研究内容

国土変遷アーカイブをどのように整備し、提供していくかを検討するために、幅広い分野から学識経験者を募り、国土変遷アーカイブ利用検討委員会を設置した。委員の選定に当たっては、自然地理学・地形学や GIS 等の専門家等、旧版地図や空中写真に関連のある分野の他、潜在的なユーザへの影響等も考慮し、広範な分野から選出した。委員を表 1 に示す。なお、アーカイブ提供側を代表して、国土地理院からも 1 名加わることとした。

表 1 国土変遷アーカイブ利用検討委員会委員 (五十音順)

| 氏名 | 所属 | 専門分野 |
|-------|-------------------------|------------|
| 稲葉 和雄 | 国土地理院地理情報部長 | (アーカイブ提供側) |
| 太田 弘 | 慶應義塾普通部 | 教育 |
| 久保 純子 | 早稲田大学教育学部助教授 | 自然地理学・地形学 |
| 栗田 好明 | 日本国際地図学会広報委員会委員長 | 地図愛好家 |
| 西山 由美 | 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科助手 | GIS |
| 布施 孝志 | 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻助手 | 土木・都市工学 |

委員会において、下記事項について検討を行った。

- ・ 旧版地図・空中写真アーカイブの具体的利用例の検討
- ・ 国土地理院による国土変遷アーカイブの提供に関する課題等の抽出

3. 得られた成果

(1) 旧版地図・空中写真アーカイブの具体的利用例の検討

各委員がそれぞれの分野で取り組んでいる事例について報告がなされた。その結果、利用例として下記が示された。

- ・ 地理の授業において利用（日吉の街のデジタルマップ ～日吉の街の今、むかし～）
- ・ 大学の研究資料として利用（相模湾北部沿岸地形分類図の作成、古地図を用いた感染症マップの作成「インフルエンザ時系列マップ」、地形図の時系列比較、水域変遷の表現、効果的地図表現法の検討、等）
- ・ 野外歴史地理巡検資料として利用（宇治・伏見の歴史地理的遺産を訪ねる）

(2) 国土地理院による国土変遷アーカイブの提供に関する課題等の抽出

各委員から、国土変遷アーカイブの整備方法や提供方法に関して下記のコメントがなされた。

- ・ 旧版地図の歪みの問題をどうするのか。特に1万分の1の場合には隣接図と接合しないことに対する問題が存在する。
- ・ 図法の違う場合の処理をどうするのか。許容範囲かどうかの整理が必要である。
- ・ 旧版地図の定義をどのように考えるのか、整理しておく必要がある。
- ・ インターネット閲覧者としての対象を明確にしておく必要がある。パソコンが使える一般の人ぐらいを対象とする。
- ・ 旧版地図等をインターネットで公開することにより、過去のことがよく分かり役に立つことが多いが、反面、邪魔な情報を与えてしまうことがあり得ることも認識としては必要である。
- ・ オルソ補正された画像の提供についても、今後検討していく必要がある。

4. 結論

国土の変遷を記録した貴重な資料である、旧版地図や空中写真等の国土変遷アーカイブを、どのように整備し、どのように提供していくかを検討するために、国土変遷アーカイブ利用検討委員会を設置し、委員会を開催した。

委員は国土地理院の他、旧版地図や空中写真を利用している様々な分野から学識経験者を選定した。

委員会において、①旧版地図・空中写真アーカイブの具体的利用例の検討、②国土地理院による国土変遷アーカイブの提供に関する課題等の抽出、についての検討を行い貴重な意見を頂いた。

平成17年度に提供開始予定である国土変遷デジタルアーカイブにおいて、これらの意見を反映させ、また具体的利用方法を提示していくことで、アーカイブの積極的な利用を国民に働きかけたい。